



■羽曳野市第1期総合戦略の総括
 ○数値目標は全て「評価B（目標達成に向け、予定どおり進捗）」以上で、順調に進捗。
 ○大半の KPI において進捗が改善や増加等が見られたことから、施策や取り組み内容については、一定の成果があったが、一部の KPI については、実績の乏しいものもあるため、取り組み内容等の検証が必要。
 ○人口減少が進行しているため、これまでの取り組みを切れ目なく進めるとともに、社会情勢等を踏まえ、取り組みの充実・強化や見直しを行うことが重要。

■社会情勢
 ①人口減少・少子高齢化の進行
 ②新型コロナウイルス感染症の世界的な流行
 ③デジタル社会の進展

■国：デジタル田園都市国家構想総合戦略
 (2023年度～2027年度)

- デジタルの力を活用した地方の社会課題解決
- ① 地方に仕事をつくる
 - ② 人の流れをつくる
 - ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - ④ 魅力的な地域をつくる

- デジタル実装の基礎条件整備
- ① デジタル基盤の整備
 - ② デジタル人材の育成・確保
 - ③ 誰一人取り残されないための取組

■大阪府：第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略
 (2020年度～2024年度)

- 方向性
- ① 若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現
 - ② 人口減少・超高齢社会でも継続可能な地域づくり
 - ③ 東西二極の一極としての社会経済構造の構築

- 重点取組方向
- 万博のインパクトを活かした取り組み
 - SDGsの推進
 - スマートシティ実現に向けた取り組み

社会情勢の変化や施策の成果・課題を踏まえ、第2期総合戦略を策定

第2期羽曳野市まち・ひと・しごと創生総合戦略～デジタル田園都市国家構想の実現に向けて～
 (令和5(2023)年度～令和7(2025)年度)

【基本目標】

① **結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現と「生きる力」を育む教育環境の充実**
 子どもを安心して産み、健やかに育てられるよう、地域と連携した子育て・教育環境の整備を進めるとともに、子どもが様々な舞台上で夢をかたちにして、未来にはばたき、豊かな人生を切り拓いていくことができる「羽曳野の教育」に取り組みます。

② **地域ブランド力を向上させる資源の発掘・整備による地域経済の発展**
 人口減少・ポストコロナ社会において、本市の地域特性を踏まえた持続可能な「まち」の創造と実現に向け地域の資源や特性を活かした産業の振興、地域の活性化を担う多様な人材の確保に取り組み、地域経済の発展を推進します。

③ **地域の活性化・賑わいの創出による都市魅力と地域愛の向上**
 地域の活性化と賑わいの創出に向け、民間事業者や大学等の多様な主体と連携した地域課題の解決や地域コミュニティの維持・連携強化等に取り組み、選ばれる居住環境と安全・安心な生活環境の整備を進めます。
 あわせて、ウェブサイトや公式 SNS 等を通じ、本市の魅力を積極的に情報発信することにより、関係人口の拡大と若い世代の定住化を促進します。

【まちの将来像】 ひと、自然、歴史文化を育み 笑顔輝く はびきの
 ～みんなで作る だれもが住みたいまち～

実現するための具体的取り組み

戦略の柱	重点項目	横断的視点
戦略の柱1 羽曳野で結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	① 結婚・妊娠・出産に対する支援 ② 子育てに対する支援 ③ 子どもの学びに対する支援 ④ 社会全体で子どもを支えるための環境整備	◆多様な人材の活躍を推進する ◆新しい時代の流れを力にする
戦略の柱2 羽曳野に新しい人の流れと雇用を創り出す	① 歴史文化や地域特有の資産を活用した観光の振興 ② 移住・定住の促進 ③ 地域の宝の発掘・活用による地域産業の再生 ④ 地域経済の活性化を担う地元企業や店舗等への支援 ⑤ 地域農業の活性化	
戦略の柱3 羽曳野でいきいきと安心して暮らせる環境を整える	① 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」・日本遺産「竹内街道」の保存・活用 ② 交流拠点の形成 ③ 安全で安心して住み続けられる持続可能なまちの実現に向けた環境整備 ④ 民間事業者や大学等の多様な主体との連携 ⑤ シティプロモーションの推進 ⑥ DXの推進	

誰もが便利で快適に暮らせる社会をめざし、デジタルの力を活用

整合・一体的取り組み